

# 非営利法人ニュース

2019年  
3月号  
Vol. 73



発行

公益総研 非営利法人総合研究所  
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル  
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814

編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

・・・★★★ お勧め相談会情報 ★★・・・

## 【1】法人解散無料相談会 (NPO・公益法人、一般法人)

- \* 法人解散の申請方法等の手続きについて等
- \* それぞれの法人の専門家がご相談をお受けします

完全予約制の個別相談です

- 日時 毎週月曜日 午後13時30分～17時  
(相談時間は1組50分を予定しております)
- 会場 東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル 1階会議室  
(新橋駅烏森口より徒歩7分・御成門駅より徒歩5分)
- 相談料 無料

★★★ 助成金のお知らせ ★★★

## 【2】HTM基金

□助成目的: 健康で幸せな人々の暮らしを守るために、障がいや病気を抱える人々とそのご家族に対しサポート活動をしている団体に助成支援を行い、公益の増進に寄与する。

□助成対象: 障がい・病気に悩む人々とその親が抱えている様々な医療・福祉上の支援活動を行っている日本国内で活動する次の法人

- ・公益法人(公益社団法人又は公益財団法人)
- ・一般法人(一般社団法人又は一般財団法人)
- ・NPO法人

□助成件数: 3件～5件

□助成金額: 1件あたりの助成金上限は原則として30万円以内

※パソコン・カメラ等の耐久消費財や10万円以上の物品の購入、常勤スタッフの人事費等の経常的経費は対象外

□助成期間: 単年度(2019年4月1日から2019年12月末までの間に行われる事業が対象)

□応募手続き: 応募用紙は、当財団ホームページ(<https://kosuikyo.com/>)よりダウンロードし、必要事項を記入して必要書類とともに郵送して下さい。

□募集期間: 2019年2月4日(月)～2019年3月28日(木) ※当日消印有効

## 【3】JM基金

□目的: 子どもの心と体の健やかな成長を願い、子ども社会に格差ない「平等の機会」を支援することを目的にされました。この基金では、そのような子どもたちに無料で食事の提供をしている団体に対して活動の支援を行います。

□助成対象: 日本全国において食事支援活動を行う団体で以下の要件を満たすもの。

- 1 子どもたちに対して無料の食事支援活動を行なっているもの
- 2 1年以上且つ、毎月1回以上の食事支援活動を約束できるもの
- 3 営利目的でない事業であること
- 4 法人格の有無は問わないが、法人格があることは望ましい

□助成件数: 10団体程度

□助成金額: 1件あたり30万円以内(事業実施が月4回未満は20万円、月2回未満は10万円以内)

□応募手続き: 応募用紙は、当財団ホームページ(<https://kosuikyo.com/>)よりダウンロードし、必要事項を記入して必要書類とともに郵送して下さい。

□募集期間: 2019年2月12日(火)～2019年4月8日(月) ※当日消印有効

※応募に必要な書類、選考方法等助成金に関する詳しい情報は、  
財団ホームページ (<https://kosuikyo.com/>) をご覧ください。



◎情報満載! 今月のもくじ◎

相談会情報	1
助成金情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

### ★相談会申込方法★

#### 【1】法人解散無料相談会

→特定非営利活動法人  
国際ボランティア事業団  
TEL 03-5405-1813  
FAX 03-5405-1814  
メール npoinfo@iva.jp

#### ■必要事項

- ①参加日
- ②参加者氏名
- ③団体名
- ④案内送付先郵便番号、住所
- ⑤電話
- ⑥ファックス
- ⑦メールアドレス

### ★助成金応募先等★

#### 【2】【3】助成金

→公益財団法人公益推進協会

応募用紙等郵送先  
〒105-0004  
東京都港区新橋6-7-9  
新橋アイランドビル2階  
(公財) 公益推進協会  
・HTM基金  
・JM基金  
担当 高野亮

お問い合わせ  
03-5425-4201  
(問合せ対応時間: 平日10時～18時)

## ★非営利法人関連情報★

外国人高齢者向け住宅 川口のNPO開設へ  
川口市のNPO「JIN愛育センター」が、介護が必要な外国人高齢者らを受け入れる集合住宅の開設準備を進めている。人口約60万人の同市は県内自治体で最多の約3万6000人の外国人が暮らす。一方で、言葉の壁や文化の違いなどから外国人高齢者を受け入れる介護施設は少なく、家族にも大きな負担になっている。  
(毎日新聞 3月2日)

### 倉敷沖の手島ごみ177キロ回収 親子ら参加

海ごみが大量にたまっている倉敷市沖の手島(丸亀市)の海岸で24日、NPO法人が主催して清掃が行われ、環境汚染の原因として問題視されているプラスチック類など177キロ(ごみ回収袋で33袋分)が回収された。

倉敷市沖の島々に岡山県からの海ごみが漂着した海岸が多いことを伝えた本紙報道などを受け、NPO法人「ケーリンパートナーおかやま」(岡山市南区)が回収を呼び掛けた。岡山、倉敷市などから参加した親子連れを含めた約20人が、同市下津井地区から船で手島北東部の海岸に渡り、ごみを拾った。ペットボトルや発泡スチロール、食品容器などのプラスチック類をはじめ、空き缶や瓶などの海ごみが流木とともに浜辺に散乱し、タイヤやプロパンガスボンベも見られた。約100メートルにわたって1時間ほどごみを回収。それでも長い浜の一部にすぎず、雑木の奥に入り込んだごみなどは回収できなかった。プラスチックは、放置すると劣化して微細なマイクロプラスチックとなり、有害物質を吸着して生態系への影響が懸念される。手島では海ごみが長い距離にわたって蓄積していることが確認されている。主催者側は今後も回収イベントなどを行い、海ごみを減らす機運を高めていく方針という。

(山陽新聞 2月24日)

### 慈善マラソン、400年の歴史イギリス

イギリスでは、世界的に有名な4月のロンドンマラソンをはじめとする数多くのマラソン大会が開催されています。今月3日、ロンドン市内で毎年恒例となった市民マラソン大会「キャンサー・リサーチUK・ロンドン・ウインター・ラン」が開催されました。がんの治療サポートや研究を行うチャリティー団体「キャンサー・リサーチUK」主催で、ランナーたちはロンドン市内中心部の風景を楽しみながら、10キロのコースを駆け巡ります。イギリスでは、チャリティーやボランティアという慈善活動が大変盛んで、その歴史は17世紀までさかのぼるといわれています。実際に、街中ではチャリティーショップ(市民から寄付された物品を販売し、その収益を非営利活動に活用することを目的とした店)をよく見掛けます。

また、イギリス国内に、ロンドン、ケンブリッジ、マンチェスター、グラスゴー、オックスフォードを含む計14の専属研究所を持ち、収益の約8割を原資として、がんの研究や治療に従事する約4千人の科学者、医師、看護師に助成しています。本大会に参加するランナーの中には、別のチャリティー団体に所属している人も多く、彼らは会社の同僚、友人にスポンサーになってもらい、タイムは二の次で、完走したら寄付をしてもらうことを目的に走ります。また当日は、走り終わったらランナーや、沿道のボランティアスタッフが一風変わった衣装や着ぐるみを着て応援する様子も見られ、自身のチャリティー団体について周囲に精いっぱいのアピールをしつつ、周囲を楽しませようとする雰囲気が伝わってきました。イギリスにおけるチャリティーカルチャーは、肩肘を張らず、ごく自然な行動として市民一般に根付いたものであり、このような文化が日本でもさらに広まっていくよう願っています。

(岐阜新聞 2月28日)

\* 内容に関しては、問合せ先に直接問合せをお願いします

### 著作権遺贈で岡山に保育園開設

ペストセラー「置かれた場所で咲きなさい」などの著書で知られる学校法人「ノートルダム清心学園」(岡山市)の前理事長、故渡辺和子さんの印税收入を活用した保育園が4月、岡山市に開設される。「恵まれない子のために使って」という渡辺さんの遺志を継ぎ、医療的ケアが必要な子も受け入れる方針だ。渡辺さんは9歳だった1936(昭和11)年に2・26事件が起き、自宅で父親の渡辺鉄太郎・陸軍教育総監を目の前で殺害された。18歳で洗礼を受け、56年にノートルダム修道女会に入会。36歳でノートルダム清心女子大の学長になり、2016年に89歳で亡くなった。  
(毎日新聞 2月15日)

### 聴覚障害者と健常者が創作する人形劇団

聴覚障害者と健常者が共に創作する人形劇団「デ・パベットシアター・ひとみ」(神奈川県川崎市)の苦小牧公演を実現させようと、苦小牧市民有志が実行委員会を立ち上げ、招致活動を進めている。メンバーは市総合福祉課の石橋創さん(48)ら地域福祉に携わる人など10人。公演を通じて互いに認め合い、助け合う共生社会への関心を高めたい考えだ。6月開催を目指し4日、インターネットで資金を募るクラウドファンディングを開始する。1980年発足の同劇団は聴覚障害者も出演し、せりふに頼らない視覚的表現を重視したステージを展開。手話も駆使して障害の有無や年齢、文化の違いを超える、誰もが楽しめる、国内外で人気を集めていることが確認されている。主催者側は今後も回収イベントなどを行い、海ごみを減らす機運を高めていく方針という。

(山陽新聞 2月24日)

### 年30億円「廃棄ロス」防げるか?

コンビニやスーパーなどで節分用の恵方巻きが大量に廃棄される問題は今年もなかなか解消できなかつた。実は、株式市場の世界にも膨大なロスが存在する。余ってしまった株主優待を捨てるのか、生かすのか。「株主優待ロス」ができる限り少なくしようという動きが広がり始めている。3月は上場企業の6割の決算期が集中し、市場では「株主優待の権利取りを意識した買いが増え始める時期」と言われる。もちろん、各種優待品は投資先への愛着を深めるのにも役立つが、「優待品の多くが現物」という難点も併せ持つ。企業や機関投資家にとっては活用が難しく、換金性の高い一部のものを除いて廃棄してしまうケースが多い。ある試算によれば、その額は年間30億円分に相当するという。こうした背景からロスを極力なくそうという動きがここに来て出始めた。日本証券業協会は今年、証券会社が受け取った不要な株主優待をNPO団体などに寄付する新たな仕組みをつくる予定。会員サイトを立ち上げ、証券会社自らが寄付先を探さずとも、支援を必要とするNPOに物品が行き渡るようにするという。国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)に沿った活動の一環で、関係者は「フードロス、ならぬ株主優待ロスを防ぐ仕組みだ」と話す。株主優待は、企業にとっても手間やコストがかかる取り組みで、優待品の調達のみならず、それを株主名簿に記載されている株主すべてに配送する手間やコストを考えると「もっと良い株主還元策があるのでは」との声は根強い。投資家からも「優待を実施する資金を配当に回してほしい」と、実利の要求も強い。一連の取り組みの狙いとして、株主優待を「社会貢献」につなげることで、「アンチ優待派」を納得させる効果を期待している面もある。最近ではアサヒグループホールディングスのように、優待品を受け取らない場合、それ相当の資金を寄付できるオプションを優待内容に加える企業も出てきており、優待ロス圧縮の意識と流れは今後加速しそうだ。

(日刊スポーツ 2月4日)

### 末期の卵巢がんと偽り寄付金を騙し取る

ケンタッキー州ブーン郡フローレンスに住むジェシカ・クレックスケイ(25歳)は、2013年~2017年の4年にわたって職場の同僚らに「末期の卵巢がんと体内にがんが転移している」と偽り、10,000ドル(約110万円)以上の寄付金に加え、品物や親切行為を受け取っていた。当時、ジェシカが働いていた減量クリニックの同僚らは病のことを聞いて同情し、抽選くじやオークションで積極的に寄付金を集めることに専念した。また、外食へ連れ出したり、ジェシカの家を掃除したりしていたほか、自分たちの病欠休暇や有給休暇をジェシカに振り当てていた。ジェシカは仲間たちが集めた寄付金で「余命僅かな自分にはこれが最後の旅になる」と言い、家族とともにディズニーランドへ旅行していたという。  
(niftyニュース 2月28日)

### 昨年廃線「天空の駅」邑南町が取得へ

昨年3月に運行を終了したJR三江線で、高さ約20メートルの高架上にあり、「天空の駅」と呼ばれた宇都井(うづい)駅(島根県邑南町)などについて、同町の石橋良治町長が4日開かれた町議会で、JR西日本から取得する考えを表明したことが町への取材で分かった。町は、二つ先の口羽(くば)駅(邑南町)と両駅周辺のトンネルも取得する。JR西は廃線前、これらの資産を無償で譲渡できるとして、昨年3月末までに受け入れの可否を決めるよう町に求めたが、町は将来の多額の撤去費を懸念し、今年3月末までの延長を申し入れていた。その後、駅を観光拠点として残そうと、町から管理を委託された地元NPO法人などが駅の階段を使った流しうめんやイルミネーションなどの集客イベントを実施。収益状況などを町に報告したNPOが、駅などを利用した観光事業の経費はイベント売上で賄えると説明したことを踏まえ、判断した。  
(日刊スポーツ 3月4日)

### 赤ちゃんが縁結び役に岡山で婚活イベント

赤ちゃんがキューピッド役を務める婚活イベントが3月17日、岡山市内で開かれる。赤ちゃんを連れた母親が学校などで子育ての体験談を語る活動に取り組むNPO法人が企画に協力。参加者は抱っこなどの育児体験を通じ、将来の家庭像を思い描きながら交流を深める。当日は0~3歳児と母親の6組が会場を訪問。参加者は6グループに分かれて乳幼児を抱っこしたり、おもちゃであやしたりする。その後はスイーツを味わうアフタヌーンティーで会話を楽しめ、カップリングタイムへと進む。「赤ちゃんがいる」と場が和み、会話のきっかけが生まれやすい」という狙いから、NPO法人「ママの働き方応援隊」(岡山校(岡山市)と、結婚情報センター「ノッツェ」(東京)が共同で開く。2015年に続く2回目の開催。  
(山陽新聞 2月21日)

(日経ビジネス 2月28日)

### 熊本県、くまモン「自立」へ新基金を創設

熊本県は2019年度、くまモン商品の海外販売で得た収益を積み立てて「くまモン活躍基金」を創設する。国内外でのPRや動画制作など多岐にわたる活動費を将来的に基金で賄うのが目標で、くまモンの「独り立ち」につなげる。基金の原資として、ふるさと納税で「くまモン応援分」として寄せられた寄付金などから1億円を19年度一般会計当初予算案に計上した。くまモン商品の海外展開では、国外の企業も有料でイラストを使用できる制度が昨年10月、全面解禁された。使用料から偽物対策などのブランド管理費用を捻出する仕組み。県によると、現在の使用料収入はブランド管理費に遠く及ばないが、「2~3年後をめどに黒字化して基金に回す収益を確保したい」(くまモングループ)としている。県の18年度のくまモン関連予算は約3億5千万円。19年度は約4億円を見込んでおり、全て一般財源を充てる方針。  
(熊本日日新聞 3月4日)

### 京都市立芸術大移転に10億円寄付

京都市西京区の市立芸術大のJR京都駅(同市下京区)東側への移転事業に使ってほしいと、市内の企業が市に10億円を寄付したと、同市が朝日新聞の取材に明らかにした。市は企業の意向により社名を明らかにしていない。寄付金はすべて移転事業費に充てられる。市行財政局総務課によると、寄付を受けたのは1月18日。この企業は文化や芸術への関心が高く、「京都駅東側が文化のまちとして活性化するよう応援したい」と申し出たという。移転の事業費は約250億円。うち約190億円は市債、約60億円を一般財源でまかなう。2020年度に着工し、23年度の移転を見込んでいる。同課の担当者は「これほど多額の寄付は珍しい。大変ありがたい」と話している。市は企業や個人に寄付を呼びかけ、昨年4月以降に市内の電子機器メーカーから100万円、ほかに延べ21人からふるさと納税で計110万円が集まっていた。  
(朝日新聞 3月5日)

### ランドセル仲介、想定上回る反響

使われなくなったランドセルを募り、必要としている家庭に贈る福井県福井市の「ランドセルもらってんて事業」が好評だ。昨年5月に募集、提供を始めて以降、3月1日までに54個を仲介。多くの子どもたちが喜んでおり、2019年度の事業継続、拡大が決まった。入学や転校のシーズンを前に、市子ども福祉課の担当者は「ランドセルが必要な方はぜひもらいに来て」と引き続き呼び掛けている。「ランドセルは高額で買うのが負担になっている」「みんなと違うから学校に行きたくない」。こうした親子の声に応えようと昨年4月、家庭で眠っているランドセルを活用するアイデアを同課が考案した。事業費はかかっていない。色や形は問わず、6年間の使用に耐えられるという条件で、広報紙や市ホームページを通じて募集。想定を大幅に上回る数が市民から寄せられ、予定を繰り上げて7月に受け付けを終了した。担当者は「こんなに集まるのかと驚いた。ありがたいこと」と感謝する。ランドセルは、小学生または今春に小学校に入学する子がいる市内家庭を対象に、原則1個を無償提供。経済事情を理由に希望する家庭が大半で、譲り受けた親からは「一般的なランドセルは5万円くらいする。とても買えないと思っていたのでよかった」と喜ばれた。転校先のルールに対応するため必要とする家庭もあった。寄付されたランドセルは色々な種類も豊富で、市役所別館2階の子ども福祉課を子連れで訪れる家庭も目立った。新入学を控えた子どもたちは、目を輝かせながらお気に入りを選び、背負ったままうれしそうに持ち帰る姿もあったという。

(毎日新聞 3月1日)

### 虐待施設出身者の大学進学率は1割

東京都の児童養護施設「若草寮」で施設長を勤める男性が2月下旬、元入居者の田原仁容疑者に殺害された。田原容疑者は「施設関係者なら誰でもよかつた」と話しており、警察庁は詳しい動機を調べている。この事件について、精神科医の香山リカ氏が3月4日放送の「モーニングCROSS」(MX系)で言及した。香山氏は「18歳までは基本的に施設で育つことができますが、そこを出た時の問題が非常に大きい」と退所後の生活の困難さを口にした。続けて、高校を卒業した人の半分以上が大学進学をする昨今において、施設出身者の大学・進学率は1割程度に留まり、就職率が7割にのぼる状況だと解説する。香山氏は、「単純に施設でご飯を食べさせて育てるのではなくて、その人達のライフチャンスをいかに広げるかが注目点になっています」といい、施設に入所しているというだけで、自分の人生の選択肢が狭められてしまっているのが現状だと指摘。施設出身者であっても本人がやりたい仕事や勉強ができる環境を整え、モチベーションを育していくのかが重要と語った。  
(毎日新聞 2月17日)

神奈川県の弁護士や医師ら専門家が集まり、親などから虐待を受けた子ども(被害児)への支援をワンストップで実施するNPO「神奈川子ども支援センター・つなぐ」(横浜市)の設立準備を進めている。関係機関と広範囲に連携して子どもを支援する取り組みは珍しいといい、新年度からのスタートを目指す。虐待事案を巡っては、児童相談所(児相)や警察、学校、病院など関係機関の連携が課題になっている。

(毎日新聞 2月17日)

### 小4女児死亡 母親は保護されるべき被害者?

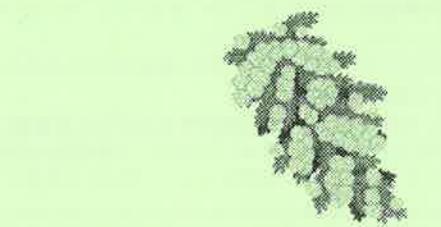
千葉県野田市の小学4年栗原心愛さん(10)が自宅浴室で死亡した事件で、ドメスティックバイオレンス(DV)被害者を支援するNPO法人「全国女性シェルターネット」(東京)は今月、DV虐待事案として対応を求める声明を出した。家族を暴力で支配するDVと虐待は一体と捉え、母子をともに守るシステムが必要と訴える。同ネットは、暴力を受けた女性を保護する全国67団体で構成。事件は、心愛さんに冷水シャワーをかけるなどしたとして、父親の勇一郎容疑者(41)と母親のなぎさ容疑者(32)が逮捕された。事件前、行政はなぎさ容疑者のDV被害の情報を接していたが踏み込んだ対応をしていなかった。声明は、DV加害者は「最も大切にすることを守るためにやめた」と指摘。「母親なのだから命に代えて子どもを守るべきだという神話は通用しない」とし、暴力で支配された母親が子を守る難しさを挙げた。その上で「心愛さんの母親は保護されるべきDV被害者であり、逮捕されるべき容疑者ではない」と結び、DVと虐待に一体的に対応できる支援システムや法の整備を求めた。

(神戸新聞 2月25日)

### 山田町NPO損賠訴訟 町の管理責任問う声も

東日本大震災の復興予算を私的に流用したとしてNPO法人「大雪りばあねっと」の元代表に22日、岩手県山田町への賠償を命じる判断が示された。ただ賠償額は請求の一部にとどまつたことから、町の管理責任を問う声も上がった。賠償を命じられた岡田栄悟受刑者は現在、業務上横領罪などで服役中。返済能力はほとんどないとみられる。山田町の自営業大手恵美子さん(55)は「震災発生直後の大変な時期に被災地に来て、町民が大変な思いをしているとの自覚はあったはず。時間がかかっても返済してほしい」と話す。復興を食い物にした事件は、被災地支援を続ける他団体の活動にも少なからず影響を与えた。岩手県NPO活動交流センター(盛岡市)の岩見信吾副センター長は「寄付人が働く「西陣麦酒(ばくしゅ)」(京都市)と、精神科医の高木俊介さん(61)が障害者雇用を目指して設立した「京都・一乗寺ブリュワリー」(同)の両醸造所。原料の大麦は前橋市の障害者就労支援施設「菜の花」、ホップは障害者が参加する宮城県石巻市の「イシマキ・ファーム」でそれぞれ栽培したものを使い、西陣麦酒などが醸造や販売を行う。西陣麦酒では自閉症の人が瓶詰めやラベル貼りを担い、今後は醸造も学ぶ予定だ。

(河北新報 2月23日)



# 「トップ オブ 信用できない人の言葉」

公益総研株式会社 首席研究員兼CEO  
公益財団法人公益推進協会 代表理事  
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也



先月号のこのコラムで「最も信用できない職業」を取り上げ、「政治家」が調査した25か国中23か国でダントツ1位だったことを書いたが、皆さんはどう思つただろうか？

その前に、最近テレビで政治家を見た人は、そこに誰が出ていたか考えてほしい・・・外国なら「トランプと金正恩」だろうが、日本は誰だ？恐らく、元外交相手の女性から準強制性交の疑いで告訴され、半ベソかいて衆議院議員を辞職した「田畠毅」だろうか？それとも、民主党時代に「自民党をぶっ潰す」と高らかに宣言したが、今はその潰すはずの自民党に入りたくて入りたくて、でも田畠が辞職したあおりを食らってオロオロしている衆議院議員の「細野豪志」だろうか？

それともそれとも、都知事選の公約では築地市場の跡地について、「築地は食のテーマパークにする」と高らかに宣言したにも関わらず、今年1月、手のひら返したように今度は「国際会議や展示会などが開ける施設に整備すると、何千億円の税金を無駄にしたにもかかわらず平気で嘘つきまるく「小池百合子」かだろうか？百合ねえは、昨日も東京マラソンの表彰式に臨んだ際、ポケットに両手を入れたまま、傘も関係者にさしてもらっていたと報じられていた。

最近テレビによく出る政治家は、その3人といつても過言ではないだろう。「田畠」と「細野」と「小池」・・・その共通点は・・・そう「信用できない」だ！！やっぱりそうなのだ。悲しいことに、今も政治家は信用できないし嘘つきなのだ。なのに、今年も選挙がやってくる。

さすがに、私の最近の予想はよく当たるし、政治家の嘘もほとんど見抜けることが私の周りでは浸透してきたのか、選挙が近くなるとよく聞かれるのは「先生の話を聞いていると政治家は誰も信用できないのですが、いったい誰に（どの政党に）入れたらよいでしょうか？」だ。いやちょっと待ってくれ。そのくらいは自分で考えて欲しい・・・そして、あとから反省して学んでほしいのだ。そして二度と間違いを犯さないようにしてほしい。だって悪いのは政治家よりもむしろ騙される国民の方だからだ！！

前に、マスコミに踊らされて日本をおかしくしていくのは国民の大部分を占めるB層であるという話をしたが、何千万人というB層が学んで気付いて行動しないと、間違いなくこの国は滅んでいくだろう。えっ、B層って誰かって？？忘れてしまった人のために、もう一度復習しよう。B層は、郵政民営化選挙で小泉ライオン率いる自民党に投票し、4年後の政権交代選挙で民主党に投票し、民主党に裏切られた3年後の選挙で安倍ちゃん率いる自民党に投票し、アベノミクスで踊る次の選挙でも自民党に投票した人。都民なら、前回の都知事選挙で百合ねえに投票し、都議会選挙で都民ファーストに投票した人のことだ。そして、そのB層は、次の都知事選では百合ねえには投票せず、都民ファーストの議員にも投票しないだろう。

では、あなたがB層にならないために、最も信用できない職業に選出された「政治家」のトップ中のトップである我らが安倍ちゃんの今年の施政方針演説を聞きながら、福島流の裏読みをしていこう！ちなみに、カッコの中が福島の裏読みまたは隠された真実だ。第198回国会における安倍内閣総理大臣施政方針演説の中からピックアップ

1. この6年間、3本の矢（ホラ）を放ち、経済は10%以上成長し来年度予算における国の税収は過去最高、62兆円を超えています。（借金も過去最高の1470兆円を超えてマ～ス！）
2. 悪化を続けてきた子どもの相対的貧困率も、初めて減少に転じ、大幅に改善しました。（経済協力開発機構に加盟する36カ国の平均を上回る状況であることに変わりはないし、ひとり親世帯の貧困率は50.8%と半数を超える主要国の中でも最悪独走中～！）
3. 5年間で53万人分の保育の受け皿を整備した結果、昨年、待機児童は6千人減少し、10年ぶりに2万人を下回りました。子育て世代の女性就業率は7ポイント上昇し、新たに200万人の女性が就業しました。（2014年の総選挙で「2017年度末までに待機児童解消を目指す」と公約に掲げていたことは忘れてね～。それに「2万人を下回った」とはいえ、待機児童の集計から除外された「潜在的な待機児童」は約7万人近くいることは絶対に明らかにしたくないし～）
4. 女性の視点が加わることにより、女性たちが活躍することにより、日本の景色は一変する。人口が減少する日本にあって、次なる成長の大きなエンジンです。（子育て中だからといって、家でゴロゴロなんて許しませんよ～）
5. 障害者の皆さんにも、やりがいを感じながら、社会でその能力を發揮していただきたい。障害者雇用促進法を改正し、就労の拡大を更に進めます。（障害があっても補助金を当てにせず、とにかく働きましょう）
6. 人生100年時代の到来は、大きなチャンスです。元気で意欲ある高齢者の方々に、その経験や知恵を社会で発揮していただくことができれば、日本はまだまだ成長できる。生涯現役の社会に向かって、65歳まで継続雇用することとしている現行制度を見直し、70歳まで就労機会を確保できるよう、この夏までに計画を策定し、実行に移します。（慣れてきたら年金は70歳まで出さないつもりだけど怒らないでね！もちろん、もっと先は75歳にするから、それよりはましでしょ～）
7. 女性も男性も、お年寄りも若者も、障害や難病のある方も、全ての人に活躍の機会を作ることができれば、少子高齢化も必ずや克服できる。平成の、その先の時代に向かって、「一億総活躍社会」を、皆さん、共に、創り上げていこうではありませんか。（とにかく、国からお金を貰える人をなくすことに全力を注ぎますので、病気くらいで休まずに死ぬまで働いて税金を納めてくださいね。それが私が目指す「一億総労働社会」なので～す）
8. 早期にデフレではないという状況を作り、企業の設備投資は14兆円増加しました。20年間で最高となっています。（といってもこれはぜんぶ「大企業」の例であって、労働者ひとり当たりの実質賃金は減少し続けてマ～ス。しかも、統計なんていつでも偽装できちゃうし～）

御清聴ありがとうございました。（いちいち福島みたいに反論しないで黙って言うこと聞いてね！）

\*編集後記\*

天気予報でも花粉情報が取り上げられる季節になりました。花粉症の方はしばらく辛い日々が続いている大変なことだと思います。私も以前は、特に目の痒みがひどかったのですが、なぜかここ数年症状が落ち着いています。薬を飲んでいるわけではなく、生活習慣も変わっていないのにどうしてなのかよくわかりません。ただ、完治はしないと聞いているので、ひどくならないように願いながら毎年花粉シーズンを過ごしています。

（たま）